編集後記

二号続いた特集号の後をうけて、久しぶりに通常号を刊行する。今号には、修士論文に基礎をおいた論稿が多く集ったが、この機会に、大方の御批正をいただき、その研究が深まることを期待したい。

外国人院生を中心に、比較文学的研究がふえてきたのも近年の傾向であるが、今号には、その中から二篇を掲載した。「北京の『曽根崎心中』」は、北京における『曽根崎心中』上演についての報告というだけではなく、日中の演劇観のちがいなどにもふれられており、右記の比較文学的研究ともつながってこよう。

今年度は、本号のみの刊行に終りそうであるから、次年度は、早目に37号を刊行したいと考えている。九月末日締切で、多くの投稿をお願いしたい。

（加　美）

同志社国文学　第三十六号

一九九二年三月十五日　印刷
一九九二年三月二十日　発行

編　集　加　美　宏
　　　　廣　川　勝　美

発　行　同志社大学国文学会
（代表）玉　村　文　郎
京都市上京区今出川通烏丸東入
振替　京都九―二七三七

印刷所　共同印刷工業株式会社
京都市右京区西院久田町